

各地区業況アンケート結果（30年9月調査分）

（30年9月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

9月21日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ74名の回答があり（回答率50.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 5割弱の企業が前年同月比増

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	19	16	19	15	4	73	81
比率	26%	22%	26%	21%	5%	DI+42	DI+65
売上金額/前年同月比	26	20	17	9	2	74	81
比率	35%	27%	23%	12%	3%	DI+80	DI+98

2. 6割以上が黒字

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	25	21	20	7	1	74	81
比率	34%	28%	27%	10%	1%	DI+84	DI+98

3. 全向け先でDI値プラスに

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		18	32	5		55	+24	+2
民間建設向	6	28	26	4		64	+56	+21
自動車向	2	10	25			37	+38	+8
その他需要家向	3	22	34	4		63	+38	-4
仲間取引		18	36	5	2	61	+15	-17
計	11	96	153	18	2	280	+34	+1
比率	4%	34%	55%	6%	1%			

4. 秋需に期待

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	9	38	23	2		72	79
比率	12%	53%	32%	3%		DI +75	DI +82

5. コラム逼迫感、厚板も不足気味傾向

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
-20	-19	-11	10	8	-4	-17	0	0	-7	7	-3	鉄筋用丸鋼		3	26	2		31	3
-13	-13	-6	3	-4	7	10	10	10	13	13	0	構造用丸鋼	1	2	27	2		32	6
-5	-9	-3	3	0	0	-10	-3	-3	-6	0	-9	平角鋼			35	1		36	-3
15	22	29	38	25	22	8	-6	-3	10	9	9	H形鋼		3	27	2		32	3
0	21	32	54	29	48	11	33	38	59	67	76	コラム	3	17	4	2		26	81
0	-8	-6	11	19	3	0	3	-6	0	-9	-8	小形山形鋼			37	1		38	-3
-5	-5	-5	6	-7	0	-13	-18	-12	-3	-14	-11	中形山形鋼			35	3		38	-8
3	-3	0	11	0	-3	-3	0	-9	-3	-6	-11	溝形鋼		1	33	2		36	-3
-10	-10	3	0	4	-3	-16	-15	-14	-11	-3	0	軽量形鋼C形			30	3		33	-9
-18	-14	-15	5	-5	-9	-16	-16	-15	-10	-11	-9	軽量形鋼広巾		1	18	1		20	0
23	0	29	22	44	41	32	4	14	13	8	4	冷延薄板	1	1	25	1		28	7
11	14	39	46	61	50	31	27	23	12	11	-3	熱延薄板		1	29	2		32	-3
35	31	47	53	73	59	50	40	33	27	14	3	表面処理鋼板		3	27	1		31	6
45	31	64	69	76	80	52	32	25	18	11	-3	酸洗鋼板	1		28	3		32	-3
10	10	46	53	76	55	24	21	19	16	7	5	中板		5	36	2		43	7
-5	3	29	21	18	21	8	-6	14	14	10	23	厚板	2	10	29	1		42	31
0	5	17	0	-7	6	-6	0	13	0	0	11	極厚板	1	2	13			16	25
-6	3	20	6	-4	3	-7	3	-10	-3	3	3	縞板			33	1		34	-3
-15	-3	0	3	7	0	-12	-11	-5	-12	0	-7	中径角		2	38	1		41	2
-16	5	0	8	-3	3	-9	-8	-8	-6	10	2	ガス管黒		1	36	3		40	-5
-20	-3	3	3	-3	-3	-14	-6	-8	-12	3	-2	構造用鋼管		1	37	3		41	-5
1	3	15	21	22	18	5	4	4	5	5	2	計	9	53	603	37	0	702	5

6. 建築物件本格化、価格転嫁進める

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒市況は高値を継続している。物件の出荷はあるが、総体的に低調である。需要が上回っていない中、価格動向が注視される。
	B	建築物件の需要が本格化し、ファブの稼働率がピークを迎えている。但し、ここへきて現場工期の遅れや材料納期の長期化、ハイテンションボルトの入手困難などもあり、工場行程の調整には大変苦慮されている。
	C	値上転嫁が遅れている。利益率がどんどん下っている。昨年と比較すると内容が悪い。
東北	A	一次加工（特にH形鋼、コラム、鋼板）が非常に忙しい。価格転嫁も少しずつ出来てきている。秋口（10～12月）がピークになりそう。
	B	地元物件の引合いは少ない感じがある一方、ファブからの納期確認と一部の鋼材、ボルト、外法などで非常に苦労している。また、年内の新規物件は厳しいことから先行き不透明感が強い。
	C	建築はあるが物が無い。人がいないのでは仕事ができない。
新潟	A	建築中心に動きは秋にかけて続くと見られる。収益面における単価の値上げ分が未だ転嫁できていない状況である。
	B	盆休みが長期傾向であるためその前後の休みムードが広がり、8月の稼働日は更に少なくなっているように感じる。いま一層の価格転嫁へ動かなければならない。
	C	ファブの仕事は年内山積みだが、支給材での加工が多く新規倉出しは少なくなりそう。
	D	建築需要の60%強が関東物件だが、地場物件も出始めてきた。H形鋼は歯抜けがある。
	E	構造用鋼は全般に需要堅調だが、価格転嫁は未達である。
	F	高炉メーカーのロールがタイトになり納期が遅くなってきた。品種によっては半年以上先の商品も出ている。値戻しも含め慎重に商談を進める必要がある。
	G	季節商品が立ち上がり増加傾向、自動車はトラック主体に堅調、産業機械も商品調達の影響あるも堅調に推移している。建築関連もファブ繁忙が継続しており、切板や二次加工の発注も多い。価格面は強含みで更なるメーカー値上げ分の転嫁を目指す。
神奈川		同業者販売の定尺品の動きは相変わらず横這いだが、一次加工依頼は日が進む事に良くなっている。ただ、加工業者がどこも忙しくなっているため、納期調整しながらの受注になっている。
東京	A	（鋼管）需要は堅調だが、メーカーが半年前から言い続けているタイト感は全く発生せず、秋になってもメーカー値上げの転嫁は不調。
	B	高炉メーカーの店売り向け、値上転嫁ができない。ひも付きの値上げを進めてほしい。
	C	需要家の生産は活発だが、注文量の勢いは今ひとつ。先行き需要増の予想はしているが、9月荷動きをみると本当に増してくるのか半信半疑である。自動車T社の集購価格横這いは足を引っ張る事項だが、個別で価格是正に向け交渉をスタートしている。これ以上の赤字は耐えられない。
	D	（鋼管）建築、土木分野は好調に推移。9月以降も前年比増の予想で市況も強含み推移している。

東京	E	自動車および建機含めた産業機械関連における直需は引き続き堅調な動きである。製鋼メーカーの繁忙から納期調整に苦慮している。また、店売りはさほど活況に欠けるが、納期のずれと引受制限により、在庫に歯抜けが散見されるようになってきている。
静岡	A	鋼板は店売りに対してタイト感が感じられず、仕入価格の値上げり分の客先への転嫁が進まない。建築関連の繁忙感は相変わらず、一次二次流通加工業者は納期調整に苦慮している。直近で決まってくる年内物件もあり、ゼネコン、ファブとも対応に追われている。
	B	鉄鋼商品の価格改正はバラバラである。ハイグレードファブは全国的に2019年～2020年まで受注がある。材料価格より人手不足を懸念しているようである。但し、西日本、新たに北海道を含むエリアは情報発信に気を遣わなければならない。鋼管杭施工を地域限定で行っているが、地質調査、構造設計のルール化を検討しないと施主、建設業者ともに途中で予算見直し、工法検討などの負荷がかかる。因みにこの業界も重機はあるが、オペレーター不足で着工遅れが多発している。資金繰りにも影響がある。バブル期とは違う。入手不足云々の影響なのか、とび土工関連の不良債権が多い。土工鍛冶屋と言われる業界もJR東海、NEXCO、中日本、公共等で2019年秋口まで一杯らしい。鉄鋼製品の需要増に期待している。
石川	A	普通型鋼類のタイト感はないが、規格丸鋼、特殊鋼丸鋼に不足感が大きい。しかし、一般店売り材としては何とか工夫して継ぎ回している状態。週体制の更なる普及や残業を増やさない状態でなんとか回っている感じである。しかし、実際、中小零細企業は残業して当たり前の体質でまだまだ体制改革が必要である。
	B	観測史上最大の暴風と新聞紙上で発表された台風21号の影響で当社も空倉庫の屋根が吹き飛ばされた。近隣の建物および倉庫に止めてあった車、数台が被害にあってしまった。使用しない建物の修繕や補強などに金をかける事をためらった末の災禍である。「天災は忘れた頃にやってくる」との教訓を改めて思い知らされた。
富山		工期遅れが目立ち、材料納入も9月にずれ込み始めた。増築や小口物件はボルト入手難と工場満杯で来春まで案件が増加中である。
福井		工場の増築など、地場中小物件が増えてきたが、ボルトなど手配困難な材料があり、スムーズに進まない物件も出てきている。また、台風21号の後遺症も想像以上に大きく、品種によっては長期化するものも出てきている。
岐阜	A	8月の荷動きは良くなかった。盆工事が少なかったことと値上げによってユーザー離れも目立った。利益は微増だが、売上が減少した。ファブは忙しいが工事物件の問い合わせの割に材料買いが少なく感じる。与信をどう考えるかで売上が変わる。
	B	建築関連ではBCRコラムとH形鋼の一次加工の需要旺盛状況が続いている。9月4日の台風の影響で配達が遅れ、解消するのに時間を要した。また、大阪からの入荷が約1週間の遅れが出たものもあり納期遅れが出た。
愛知	A	加工関係は忙しいところもあるが、全般的に動きは悪い。機械関係は忙しいところが多い様である。8月は休みの関係で数量減は覚悟していたが、9月荷動きの回復スピードは遅く心配。仕入価格が上り、売値が上らないのは困る。ひも付き価格の据置きが影響している。
	B	RC造の新規引合いは低調だが、工場関係の基礎や住宅は多い。細物メーカーの出荷は7月、8月と順調である。設備は出ているが定尺より加工が増えている。鉄骨関係ではボルトや切板の納期がかかる。
	C	荷動きは順調。当たり前だが、仕入単価が上がってきた。販売価格への転嫁がどうしても遅れてしまう。利益確保を優先しなくてはならない。加工品の注文が忙しい。当社は外注のためユーザーのリクエスト（納期面や価格面）に答えられない。

愛知	D	10月から自動車の支給価格が予想を大幅に下回り据置きになり困惑している。採算確保の名案がない。コイルの状況は不透明である。水害や台風の影響があるのか。大口のひも付き向けはタイトのようだが、店売り向は違うようでユーザーに品薄感はない。安物の流入は安定しており、市況は斑模様。集購の受注が急減し頭が痛い。
三重		建築用鋼材の売上が減少した。7月比、8月、9月は1割減であった。トラック不足、一次加工先不足とどうしようもない程、忙しいのに全く不思議な現象である。Hグレードファブですら忙しすぎるのか、働き方改革のせいなのか、自社での一次加工をやりたがらない。一時加工の納期に間に合わせようとする加工賃が高くなるが、それでもOKということは鉄骨単価が相当よくなってきているのだろうか。
大阪	A	盆明け以降、中小物件中心に動きはやや活発になってきた。消費税増税前の駆け込みに備えた宅地造成、倉庫、店舗、事務所などの鉄骨物件が増加してきた。一方、遅れていた公共土木工事もここへきて動きが出てきた。高速道路、鉄道関係の耐震化にかなりの予算が振り向けられているようで見積り、着工物件が急に増えてきた。
	B	超大型台風の影響で、各社被害を受けた。メーカーの強基調は変わらない。台風の影響もあり、メーカーの出荷遅れ、また10～11月は需要期に入り、荷動きがよくなるため在庫はタイト化してくる可能性がある。価格も強含んでいくであろう。
	C	台風21号により倉庫の在庫に被害が多く見受けられる。今後、需給が逼迫する可能性が考えられる。
岡山		災害復興向けに一部動きがある。特定メーカーの設備投資を受けているところは忙しくしているようだ。建築向けは安定した仕事量が予測されるのか設備増強する会社がある。
香川		形鋼は値上げを浸透して頂きたい。秋からの需要増に期待。
北九州	A	盆明け後も荷動きが落ち着いているが、倉出しはそこそこ動いている。足元の直送物件が少なく思われる。台風の影響でメーカーからの入荷が多少遅れており、バラつきはあるも、メーカーの値上げ発表もあり、秋需の気配を感じる。価格転嫁は急務である。
	B	7～8月から見ると引合いは増加傾向である。まとまった引合いもあるが、指値厳しく不調になるケースが多い。ユーザー向けは好調だが、HTボルト、アンカーボルトが少なく物件も消化不良気味。仲間売りは仮需が出てきた。
	C	依然盛上りなし。